

記 載 例

No. _____

遠 軽 町 奨 学 生 願 書

(新規・継続)

出 願 者 所 住 所	〇〇〇〇			保 護 者 所 住 所	紋別郡遠軽町1条通北3丁目		
ふりがな	えんがる じろう			性 別	男	ふりがな	えんがる たろう
出 願 者 氏 名	遠 軽 次 郎			保 護 者 氏 名	遠 軽 太 郎		
生 年 月 日	平成〇〇年 〇〇月 〇〇日生			電 話 番 号	0 1 5 8 - 4 2 - 2 1 9 1		
在 学 校 学 校 名	白滝大学			学 年	第 1 学年		
生 計 を 共 に す る 家 族 及 び 所 得	続柄	氏 名	年 齢	所得の種類	収入金額(税込)	※ 1 得金額	備 考
	父	遠 軽 太 郎	50	給与・事業・その他	3,922,200 円	2,596,000 円	
	母	遠 軽 花 子	50	給 与	1,036,683 円	386,683 円	
	祖父	遠 軽 一 郎	73				
就 学 者	続柄	氏 名	設置者別	学校種類別	学年	通学別(小中除く。)	備 考
	本人	遠 軽 次 郎	国・公・私	高・高専・大	1	自 宅 自宅外	
	妹	遠 軽 し お り	国・公・私	小・中・高・高専・大	3	自 宅 自宅外	
	妹	遠 軽 花 代	国・公・私	小・中・高・高専・大	2	自 宅 自宅外	
			国・公・私	小・中・高・高専・大		自 宅・自宅外	
家 庭 事 情	(奨学資金の貸付けを受けようとするに至った家庭事情を具体的に記入してください。)						
	※ 2	奨学資金の貸付けを審査する上で、重要な項目となりますので、貸付けを受けようとする具体的な理由・家庭事情をご記入ください。					
	※ 3						
貸付け希望額	高等学校 月額 10,000以内 円	高等専門学校及び専修学校 月額 32,000以内 円	大学以上 月額 44,000以内 円				
※備考欄	記入不要						

家庭の事情で次の事項に該当する場合は記入してください。

障害者がいる世帯	有 ・ 無	人
長期療養者がいる世帯	療養のため経済的に特別な支出をしている額	0 円
主たる生計者が別居している世帯	別居のため特別に支出している額	0 円
火災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯	被害にあつて長期にわたり支出増又は収入減になると認められる年間金額	0 円
生計を一にする家族以外の者から収入を得ている場合	有(人) ・ 無	総額 円
生活扶助を受けている世帯	有 ・ 無	年間 円
他の奨学金制度からの貸付の有無	有 制度名 日本学生支援機構 その他() ・ 無	年間 円
授業料の免除を受けている	有 ・ 無	年間 円

以上のおり記載事項に相違ありません。奨学生として選定していただきたくお願いします。
奨学生として選定するために必要があるときは、私の世帯の課税状況について、遠軽町教育委員会が税務関係当局に報告を求めすることに同意します。

〇〇年〇〇月〇〇日

遠軽町教育委員会 様

提出日を忘れずに記載してください。

※ 申請内容は、遠軽町奨学資金貸付事務にのみ使用します。

※ 1 所得のある者の収入金額を全て記入してください。

	収入金額(税込)欄	所得金額欄
給与所得者	源泉徴収票の支払金額	源泉徴収票の給与所得控除後の金額
事業所得者(営業等・農業)	確定申告書の収入金額等	確定申告書の所得金額

※ 2 奨学資金の貸付を受けようとするに至った家庭事情を具体的に記入してください。

※ 3 学校種別による貸付額の範囲内であれば、貸付額を変更することができますので、希望する月額を記入してください。

※ 出願者氏名欄及び保護者氏名欄に印鑑を押印してください。

記 載 例

町税等納付状況確認同意書

遠軽町奨学資金貸付の出願を行うに当たり、遠軽町町税等の滞納に対する制限措置に関する条例（平成 21 年遠軽町条例第 28 号）第 7 条第 4 項の規定により、私（本人・世帯員全員・会社）の町税等の納付状況について、町長が確認することに同意いたします。

〇〇年〇〇月〇〇日

遠 軽 町 長 様

保 護 者 住 所 紋別郡遠軽町 1 条通北 3 丁目
氏 名 遠 軽 太 郎 ㊞

本 人（出願者） 住 所 〇〇〇〇
氏 名 遠 軽 次 郎 ㊞

※ 世帯員全員の町税等の納付状況確認が必要になりますので、次の委任状へ記入し、提出してください。

委 任 状

私は、私の町税等の納付状況及び納付に関する一切の権限を上記保護者である

遠 軽 太 郎 に委任いたします。

世帯員 氏 名 遠 軽 花 子 ㊞

世帯員 氏 名 遠 軽 一 郎 ㊞

世帯員 氏 名 _____ ㊞

世帯員 氏 名 _____ ㊞

奨学資金申請書類早見表

学校長の奨学生推薦書、学業成績証明書及び在学証明書については、次の関係機関により、お取り寄せください。

1 新規申請者

(1) 中学校を卒業し、高校へ進学する場合

学校長の奨学生推薦書	中学校から
学業成績証明書	
在学証明書	進学先の学校から

(2) 高校を卒業し、専門学校又は短大、大学へ進学する場合

学校長の奨学生推薦書	高校から
学業成績証明書	
在学証明書	進学先の学校から

(3) 高校、専門学校又は短大、大学に在学中で新たに希望する場合 (第1学年で貸付を受けず、第2学年から希望するような場合)

学校長の奨学生推薦書	在学中の学校から
学業成績証明書	
在学証明書	

2 継続申請者

(1) 高校を卒業し、専門学校又は短大、大学へ進学する場合

(高校在学時に貸付を受けていて、進学後も貸付を希望する場合)

学校長の奨学生推薦書	高校から
学業成績証明書	
在学証明書	進学先の学校から

(2) 高校、専門学校又は短大、大学に在学中で継続して希望する場合

学校長の奨学生推薦書	不要
学業成績証明書	在学中の学校から
在学証明書	

※在学証明書は、4月1日以降の日付による証明書としてください。